

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）  
「障害関係分野における今後の研究の方向性に関する研究」  
総合報告書（資料:翻訳）

## 米国連邦政府における障害リハビリテーション研究の長期計画

米国国立障害・リハビリテーション研究所(NIDRR)2013-2017 年度長期計画骨子(案)

### 序文

米国国立障害・リハビリテーション研究所（NIDRR）2013-2017(計画)長期計画の冒頭部は、NIDRR と計画骨子(案)に関する基本的背景を定める。背景では NIDRR の使命、計画の意図、計画がどのように NIDRR の優先事項を形作るかを説明する。計画の第 2 部は、計画の目標・目的骨子(案)の概要を定める。計画の第 3 部は、以下の情報の背景について説明する；NIDRR の立法権限および目的に関して；NIDRR の障害・リハビリテーション研究に適用されたアプローチ；そのアプローチがどのように障害者の生活を改善しているか；そして NIDRR の補助金機構案が NIDRR 研究開発プログラムをどのように組み立てるか。計画の第 4 部は、NIDRR の今後 5 年間の目標・目的骨子(案)の詳細と説明を定める。

### I. はじめに

NIDRR には広義にわたる複雑な使命がある。NIDRR は、(1)障害者に自らが選択した地域社会活動に参加する能力を向上させ、(2)これら障害者のために機会と居住場所を提供する社会の受容力を高めるために、新しい知識を支援し、その効果的利用を促進させねばならない。あらゆる種類と程度の障害を抱えたすべての年代の人々の独立、包含、雇用、健康と機能に貢献することを目指した研究、開発および関連する活動を通じて、NIDRR はその使命を果たす。アメリカ人障害者の数が今後 20 年でかなり増加すると見込まれるとともに、NIDRR の使命を満たす重要性は増すばかりである(医学研究所、2007 年。アメリカにおける障害の未来。ワシントン(DC): 全米協会通信)。

NIDRR の長期計画骨子(案)(計画)には、NIDRR が 2013-2017 年度のために提案する指示を関係者が理解しコメントすることが可能な優先事項、目標や目的が含まれる。NIDRR は、2013 年度初めにすべての目標骨子(案)の実行開始を提案する。計画の期間に関して、NIDRR はさらに計画の優先事項、目標、目的やスケジュールを改良する。これらの改良は、科学技術の発展、障害者のニーズ、興味を持つ関係者へのインプット、現状の施設やプロジェクトが許容する資金提供サイクルの完成となって顕れる。改良骨子(案)は、公式な発表と評価として NIDRR のウェブサイトで公表される。さらに NIDRR は、1973 年に修正されたりハビリテーション法の第 II

章 205(a)条で承認され多くの賛同を得たりハビリテーション研究諮問委員会(RRAC)のガイダンスを確立し、積極的に使用することを提案する。RAC 骨子(案)は、NIDRR が提案した方針を反映する NIDRR プログラムを確実なものにし、進行中のアドバイスを提供するために、障害者と適切な代表者；地域リハビリテーションとサービス専門家（補助的技術供給者を含む）；リハビリテーション研究者や技術者と携わる。NIDRR がプランの改良やプログラム管理を導くために提案する 3 つの方針とは、バランス、質および関連性である。

バランスは、以下の三次元をまたがる NIDRR の資源配分管理に関連する:(1) 障害の種類;(2)個人の幸福の 3 つの結果分野(雇用、地域生活と参加、健康と機能);そして(3)障害・リハビリテーション研究課題への特定のアプローチを定義づけるのが NIDRR あるいは補助金申請者のどちらであるか。

質は、どのような方法であろうと、取り上げられた課題、質問や問題が適切であろうなからうと、研究開発活動の科学的長所と関連する。

適合性は、研究開発活動骨子(案)の利点が必ずしも直接的、即時的でないかもしれないということとを認識しながらも、障害者の幸福に本質的な貢献をする可能性と関連する。

NIDRR のピア評価過程は、NIDRR 受託の研究開発活動の質や適合性を高めるために役立つ。

NIDRR は、障害者やその家族も勿論含めた研究方法、政策、サービスと支援における専門家の知識が豊富な情報課題パネルによって NIDRR 資金調達のためのすべての適用が調査されるという目標に委ねられる。

NIDRR の優先事項は、科学、政策や実行状態の評価、RRAC 骨子(案)の助言、優先事項骨子(案)の一般の反応によって決定される。NIDRR の研究開発活動のポートフォリオは、障害者のニーズや機会の識別からそれらのニーズと機会に応える有効かつ根拠に基づく方針と実行の広範囲の実践にまで及ぶ。NIDRR は、有効で根拠に基づく方針と実行の開発が、研究の実験段階同様、潜在的に有効な実行の実験的、準実験的試みに依存することを認識する。

## II. 計画の目標・目的案の要約

NIDRR は、障害者とその家族に影響する最重要事項や問題に対処する高品質な研究、開発施設やプロジェクトの均衡のとれたポートフォリオを維持する。計画の中でさらに述べられているように、以下は、2013 年度から 2017 年度までの NIDRR の目標・目的骨子(案)の要約である。目標 1:障害・リハビリテーション研究課題への特定のアプローチを定義するのが NIDRR であろうと補助金申請者であろうと、分野や焦点となる人口分布を比較対照する研究・開発および他の活動のポートフォリオを作成する。

- ・雇用、地域生活と参加、健康と機能の分野における改善結果に焦点を当てた優先事項の均衡のとれた配分を確立する。

- ・異なる障害、個人的特徴や社会状況の人たちのニーズを発信する優先事項の均衡のとれた配分を確立する。

- ・改革を支援する分野主導の研究・開発の機会を拡張する。

目標2:一連の適切な方法を用いながら良く計画された研究・開発活動を実施する施設やプロジェクトを支援する。

- ・根拠に基づく実践を生む NIDRR の努力を強化する研究段階の方法を採用する。
- ・課題や研究問題に適合する多種多様な研究法を支援する。

目標3:障害者とその家族にとっての重要分野知識の効果的利用を促進する。

- ・NIDRR の研究の利用しやすさや効果的利用を保証するために研究施設やプロジェクトの機能と働きを増やし、改善する。
- ・NIDRR、および NIDRR に資金提供された施設やプロジェクトの関係者からのインプット利用を増やす。
- ・個々の結果を改善するために治療介入と同様、システムや政策発展にも通じる優先事項を確立する。
- ・障害カテゴリーと NIDRR の3分野にまたがる関連課題を支援する。
- ・障害者とその家族に効果的に重要課題を伝える進行中の投資を維持する。

目標4:プログラム管理を改善する。

- ・補助金競争のための優先事項を確立し発表するために NIDRR の過程を簡素化する。
- ・競争の発表が潜在的な申込者やピア評価者にとって予測可能となるように、競争とピア評価の一貫したスケジュールを確立し改良する。
- ・NIDRR のピア評価過程を改善する。

### III. 背景

(条例)で修正されたように、NIDRR は 1973 年のリハビリテーション法への 1978 年の修正によって確立された。条例 200 条(29 の U.S.C.760)に明記されているように、NIDRR の目的は以下の通りである。(a) 条例の下で認可されたサービスの有効性の改善に特に力を入れながら、社会、雇用、自立生活、家族支援、すべての世代の障害者の経済的、社会的自己満足への包括や統合を最大限にするために、研究、実証プロジェクト、訓練および関連する活動を提供する;(b)研究、実証プロジェクト、訓練および関連する活動への支援活動に対して包括的かつ調整されたアプローチを提供する;(c)研究や実証プロジェクトを通じて障害者へのリハビリテーション技術移行を促進する;(d)実用的、科学的な技術情報に、使用可能なフォーマットで、幅広い分配を保証する;(e)電気通信に関する雇用と自営を含む個人の機会を増やす有効な戦略を識別する;そして、(f)少数派のグループである研究者や障害者の研究者を含む、元来サービスを受けていないメンバーの研究者の機会を増やす。

NIDRR は、米国教育省の障害者教育局(OSERS)局長が先導する。OSERS には他に、社会復帰援助局と特殊教育プログラム局の 2 部門がある:NIDRR は、連邦政府と連携する他の障害関連局や機関と同様、これらの部門と協力して活動する。

NIDRR は、独立、地域社会参加、雇用と健康といった長期的な結果を達成し障害者を支援するために計画された広範囲のリハビリテーション研究、開発や他の活動を支援する。そのような結果を達成する際にその有効性を最大限にするために、NIDRR 研究開発活動は、補助的技術を含む個人的要因、環境上の要因や支援要因の複合体相互作用に注目する。その実用的かつ適用された焦点において、NIDRR は、知識生産者や消費者間の関係に極めて重要な役割を果たそうと努力する。

NIDRR の研究開発における適用された焦点の価値は、そこから全部あるいは部分的に得られた知識、実行、および公共政策における重要な進歩に見受けられる。近年、以下のことは含まれてきたが制限は設けられていない;ユニバーサル・デザインの原則、基準およびアプリケーションの開発;ワールド・ワイド・ウェブへのアクセスしやすさと情報テクノロジー機器(例えばコンピュータと携帯電話)のためのアクセスしやすい機能のデザインを強化したいという基準と応用;テレリハビリテーションと国のインターネット・ベースの労働人口トレーニング・システムを含むリハビリテーションへの技術の広範囲の適用;脊髄損傷、熱傷や外傷性脳損傷の長期的な結果への理解の改善と治療;精神疾患から回復している人のリハビリテーションと地域支援の発展;経費の知識と脱施設化および障害者の地域支援の発展;障害者の雇用経験に貢献する要因と実行へのよりよい理解;認識や知覚に条件がある人たちのためのモビリティ手段の開発等の改善;政策と実行を導く全国障害統計の進行中の分析。NTDRR には、障害者とその家族の生活を改善するために研究、開発、知識翻訳、能力容量構築、技術援助や情報普及の実用化への焦点を維持することが委ねられる。

NIDRR は、補助金賞を授与するために現在 9 つの機構と携わる。これらの機構内の資金提供の割付は、NIDRR が利用できる全体的資金提供、NIDRR のその年の課題の優先事項、および過去数年に付与された補助金の提供資金の投入額による。平均では、NIDRR の補助金の約 25 パーセントは毎年終了する。NIDRR の補助金機構は以下のものを含む:

- ・ リハビリテーション研究・訓練センター(RRTC s)は、障害者の健康と機能を最大化し、社会的経済的自立を最大限に促進するために、調整された先進研究を実施し、リハビリテーションの方法やサービス分配システムを改善する。RRTC は、卓越した国立研究所および国立情報提供源としての役割を果たす。

- ・ リハビリテーション技術研究センター(ERC s)は、リハビリテーション問題の解決や環境障壁を取り除きながら、障害者の機会を増やすために技術的な解決策を作成することを目指す高度な技術と技術的研究開発活動プログラムを実施する。ERCs は、支援技術手段のコスト効率の良い配分と使用を提供する。

- ・ 障害・リハビリテーション研究プロジェクト(DRRP s)は、リハビリテーションの課題に関して広範囲の研究開発計画、訓練および知識翻訳に重点を置く。DRRPs は、脊髄、精神的な外傷脳

や熱傷の時系列データを集めることから健康管理調整の結果を調査することまでも取り扱う。

・アメリカ障害者法(ADA)国立ネットワーク総括局は、ADA の権限と関係する分野の情報、技術援助や訓練を提供する。これらの施設は全国ネットワークを構成し、ADA の目的に応じて遂行しながら、障害組織、障害者、ビジネス、公的機関や一般の人々への理解を支援する。

・脊髄損傷、外傷性脳損傷や熱傷におけるモデル・システムは、怪我の後に各々にリハビリテーション・サービスや支援を提供する 3 つのネットワーク・センターを支援する。モデル・システムは、長期的な研究と普及の共同プログラム同様、研究内のプログラムも実行する。

・分野主導のプロジェクトは、将来性と革新的対処法でリハビリテーション問題を扱う。名前が意味するように、これらのプロジェクト課題は申込者によって選択される。

・上級リハビリテーション研究・訓練プロジェクトは、障害・リハビリテーション研究の分野において、臨床、管理、あるいは基礎研究経験の分野の有資格博士を募集し、彼らのキャリアのための環境を整えるために高等教育機関を支援する。

・スウィツァー研究奨学金は、個々の研究者に対し、研究の特定の方向において彼らが新しい考えを発展させ、研究経験を得て、かつ専念する機会を与える。NIDRR は、スウィツァー奨学金研究員が個々の研究プロジェクトを実施できるよう、一年間支援する。

・NIDRR によって管理されたより大きな必須連邦 SBIR プログラムの一部である中小企業研究開発奨励政策(SBIR)補助金は、新規の補助的リハビリテーション技術の開発を支援する。この二段階プログラムは、リハビリテーション関連の製品を開発から市場準備へと向けさせる。

NIDRR 基金は、NIDRR ポートフォリオの質と保全を保証するためにピア評価過程を通じて受け入れた助言に基づいて競合しながら与えられる。研究者、方法論学者、リハビリテーション技術者、および障害者を含む他の専門家は、3~7 人から構成された研究班で活動する。これらの専門家は、競争用アプリケーション・パッケージ中の選択基準によって提案を評価する。

NIDRR のピア評価過程は、NIDRR のポートフォリオのさい科学的特質、障害者の幸福への貢献、障害・リハビリテーション共同体のニーズへの反応性を保証するよう計画されている。

NIDRR は、国立科学アカデミー(NAS)によって NIDRR の 2011 年 11 月の調査の中で実施されたピア評価過程のための特定の推薦に取り組むことを含むピア評価過程の質の改善への集中を継続する。(米国科学アカデミー/米国学術研究会議(2011)。障害・リハビリテーション研究の調査:NIDRR の補助金作成過程と成果。ワシントン DC:国立アカデミー出版社。)